

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネス日本語Ⅱ		(NKT14C)
講義名 (コード)	ビジネス日本語Ⅱ B		(NKT14CB)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	田中 清夫	時間数	30
成績評価教員	田中 清夫	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	基本的なビジネスの場面で、敬語を使って会話ができる。
全体の内容と概要	ビジネスの場面に合わせた語彙の意味を説明できる。ビジネスの場面で会話を流暢にできる。
授業時間外の学修	特になし
履修上の注意事項等	ロールプレーやグループ学習に積極的に参加することを期待。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	注意をされた時にあやまることができる	第4課の語彙を覚える。あやまる時の表現を使えるようになる。
2	苦情を聞いて対応ができる	ロールプレーを通じて、ビジネス上の苦情や間違いの訂正依頼への対応を習得する。丁寧に説明することができるようになる。
3	注意を受けたり、苦情を受けたりした時に対応ができる	ロールプレーにより、注意をされたり、苦情を受けた時の対応ができるようになる
4	仕事や、業務を他の人に依頼することができる。依頼を丁寧に断れる。	第5課の語彙を覚える。依頼する時の表現を使えるようになる。
5	他人からの依頼を聞いて対応できる	ロールプレーを通じて、ビジネス上の依頼方法と対応方法を習得する。丁寧に依頼し断ることができるようになる。
6	依頼する場合と依頼される場合にそれぞれ対応ができる	ロールプレーを通じて、依頼する人依頼される人の表現ができるようになる。
7	仕事上で許可をもらうことができる	第6課の語彙を覚える。許可をもらう時の表現を使えるようになる
8	色々な相手から許可をもらうことができる。	ロールプレーを通じて、ビジネスで許可をもらう表現を使うことができる。相手に応じて許可をもらうようになる。
9	仕事上のアポイント取得ができる	第7課の語彙を覚える。アポイントを取る時の表現を使えるようになる。
10	色々な場面でアポイントを取ることができる	ロールプレーを通じてビジネスでアポイントを取る表現を使うことができる。相手に応じてアポイントを取れるようになる。
11	仕事で訪問して話ができる	第8課の語彙を覚える。訪問した時の表現が使えるようになる
12	訪問した時の色々な場面での話ができる	ロールプレーを通じて、ビジネスで訪問した時の話の表現を使うことができる。相手に応じた話し方ができるようになる。
13	典型的な商談ができる	ロールプレーを通じて、典型的な商談に必要な表現を使えるようになる。
14	総括とテスト	ビジネス日本語の授業全体の総括をする
15	フィードバック	テスト結果を説明する

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ビジネス日本語30時間
参考文献・資料等	必要に応じて都度配布
備考	